

技術・家庭科（家庭分野）学習指導案

日 時 平成30年11月9日（金）
 第3校時10:30～11:20
 対 象 第2学年 10名
 授業者 教諭 山口 佑子
 場 所 2年教室

1 題材名

4編 私たちの消費生活と環境 1章 私たちの消費生活「消費者としての自覚を持とう」
 （東京書籍 新しい技術・家庭 家庭分野 P.226～P.227）
 学習指導要領 D-（1）-ア

2 題材の目標

- ・自分や家族の消費生活に関心をもち、消費者の基本的な権利と責任について理解する。
 （関心・意欲・態度・知識・理解）
- ・販売方法の特徴について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができる。
 （工夫・知識・理解）

3 題材の評価規準

観点 評価	ア 生活や技術への 関心・意欲・態度	イ 生活を工夫し 創造する能力	ウ 生活の技能	エ 生活や技術についての 知識・理解
題材の 評価 規準	家庭生活と消費について関心をもつて学習活動に取り組み、消費生活をよりよくしようとしている。	家庭生活と消費について課題を見付け、その解決を目指して工夫している。	家庭生活と消費に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	家庭生活と消費について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。
学習活動 に即した 具体的な 評価規準	①自分や家族の消費生活について関心をもち、消費の在り方を改善しようとしている。 ②販売方法と支払方法に関心をもち、その利点と問題点について考えようとしている。 ③自分がほしい物資・サービスの購入シミュレーションに意欲的に取り組もうとしている。 ④悪質商法について関心をもち、悪質商法ゲームに意欲的に取り組もうとしている。	①収集・整理した情報を活用して、物資・サービスの選択、購入及び活用について工夫している。 ②消費者トラブルの事例について、自分ならどうするか考えることができる。	①物資、サービスの選択、購入及び活用について必要な情報を収集・整理することができる。 ②クーリング・オフについて必要な情報はがきに記入することができる。	①契約について理解している。 ②消費者の基本的な権利と責任、消費者基本法の趣旨について理解している。 ③中学生にかかわりの深い販売方法の特徴について理解している。

4 指導観

(1) 題 材 観

本題材では、次の学習指導要領の内容に該当する。

3 内容

D 身近な消費生活と環境

(1)家庭生活と消費

- ア 自分や家族の消費生活に関心をもち、消費者の基本的な権利と責任について理解すること。
- イ 販売方法の特徴について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができること。

(内容の取扱い)

- ア 内容の「A家族・家庭と子どもの成長」「B食生活と自立」又は「C衣生活・住生活と自立」の学習と関連を図り、実践的に学習できるようにすること。
- イ (1)については、中学生の身近な消費行動と関連させて扱うこと。

本題材では学習指導要領「D身近な消費生活と環境」の「(1)家庭生活と消費」における「ア 自分や家族の消費生活に関心をもち、消費者の基本的な権利と責任について理解すること」を達成するために、中学生の消費生活と契約を取り扱う。

指導に当たっては、中学生にかかわりの深い事例を通して、自分が物資・サービスを購入する主体であり、適切な消費行動をとる必要があることに気付かせるようにする。また、消費者の基本的な権利と責任について理解し、消費者としての自覚を高めることで、今後の消費生活に生かせるようにする。

(2) 生 徒 観

保護者との買い物が中心の生徒が多く、自分で商品を手にとって選び購入する経験はあまりない。しかし、通信販売で欲しい商品を自ら選び購入したり、都内で商品を購入したりする機会もある。本時を通して、中学生も消費者であることを知り、自分自信も契約をしていることに気づかせたい。

(3) 教 材 観

本教材では契約の成立について理解できるよう、契約クイズを行う。中学生の生活の中で、ファストフード店で商品を購入するという身近な場面を扱うことで、中学生にとっても契約が身近なものと感じることができるようになる。また、様々な商品を形がある商品である物資と具体的な形がない商品であるサービスに分けることで、中学生も多くの商品を購入する消費者であると気づくことができるようにする。

5 年間指導計画における本単元との関係

	4月～5月	6月～9月	10月	11月～12月	1月	2～3月
題材名	献立作りと食品の選択	調理と食文化	よりよい食生活を目指して	消費生活	環境に配慮した消費生活	幼児の生活と家族
学習指導要領	B(2)ア・イ B(3)ア・イ		B(7)ア	C(1)ア・イ C(2)ア・イ	C(3)ア	A(1)ア A(3)ア・イ
題材の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養素の種類と働きについて理解する。 ・中学生の一日に必要な食品の種類と概量がわかり、1日の献立を考え、工夫する。 ・日常生活に関連づけ、用途に応じた食品の選択ができる。 ・日常の1食分の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活について課題と計画を立て、実践し、評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な金銭管理の必要性について理解する。 ・物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・自立した消費者として責任ある消費行動を考え実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した消費生活について、課題と計画を立て、実践し、評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族・家庭の基本的な機能について理解し、協力して家庭生活を営む必要があることに気付く。 ・協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解する。 ・地域の人々の関わりについて理解する。 	

6 題材の指導計画と評価計画（8時間扱い）

時 (本時)	主な学習活動	具体的な評価規準 評価方法
第1時 【本時】	<ul style="list-style-type: none"> ○中学生の消費生活 ・お金を払っているものを物資とサービスに分ける。 ・契約について知り、どの場面が契約であるか考え、発表する。 	エ-①【ワークシート】
第2時	<ul style="list-style-type: none"> ○販売方法と支払方法 ・販売方法の種類について、店舗販売と無店舗販売のメリットとデメリットについて考え、発表する。 ・支払方法の種類について知り、例を挙げた商品をどこで購入し、何で支払うか考え、発表する。 	ア-②【ワークシート】 エ-③【ワークシート】
第3時	<ul style="list-style-type: none"> ○クレジットカード ・クレジットカード協会の冊子を使用し、クレジットカードの仕組みについて知る。 ・支払方法の種類について知り、例を挙げた商品をどこで購入し、何で支払うか考え、発表する。 	ウ-①【冊子】
第4時	<ul style="list-style-type: none"> ○商品の選択と購入について ・お年玉で商品を購入する場合に、選ぶポイントや流れを知り、自分にあった購入方法を選択できるようにする。 ・安全、品質、福祉に関する表示やマークについて知る。 	ア-③【ワークシート】 イ-①【ワークシート】
第5時	<ul style="list-style-type: none"> ○消費者トラブルを解決する方法 ・消費者トラブルに遭った例を挙げる。 ・悪質商法の種類について、悪質商法ゲームを行い、ワークシートにまとめる。 	ア-④【ワークシート】

第6時	○消費者トラブルを解決する方法② ・クーリング・オフのやり方について、実際にはがきサイズの用紙に書く。 ・消費者を守る法律や相談機関についてワークシートを使用して説明する。 ・事例を用意し、自分ならどのように対応するかグループで話し合い理解する。	イ-②【ワークシート】 ウ-②【はがき】
第7時	○消費者の権利と責任 ・消費者の権利と責任についてワークシートを用いて理解する。 ・身近な例についてグループで話し合い、発表する。	エ-②【ワークシート】
第8時	○よりよい消費者を目指して ・コピー商品による消費者問題の影響について考える。 ・グリーンコンシューマー、フェアトレードについてICTを用いて理解する。 ・よりよい消費行動について、どのように実行したらよいか考え、発表する。	ア-①【ワークシート】

7 指導の工夫

- 商品を物資とサービスに分けることで、中学生も消費者であることに気づくことができるようにする。
- 契約クイズを行い、契約について理解ができるようにする。

8 本時における評価方法と評価基準

学習活動	評価方法	評価基準		Bに満たない生徒への支援
		おおむね満足 (B)	十分満足 (A)	
○契約クイズを行い、ワークシートに答えとその理由を記入し、発表する。 ○どの場面が契約の成立の場面かイラストを見て個人で考え、発表する。	エ-①【ワークシート】 契約について理解している。	契約について考え、理由をワークシートに記入している。	契約について考え、成立の理由を踏まえワークシートに記入している。	契約について、ワークシートで振り返り、個別に対応する。

9 本時（全8時間扱いの第1時間目）

(1) 本時の目標

- ・商品を物資とサービスに分けることができる。
- ・契約について理解できる。

(2) 展開

時間	具体的な学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価内容と方法
導入 5分	○本時の学習を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">消費者としての自覚をもとう</div> ○身の回りで、お金を支払って購入しているものを挙げる。	・できるだけ、多くの商品を挙げるができるようにする。	
展開 40分	○お金を支払って購入しているものを物資とサービスに分ける。 ○物資とサービスには他にどのようなものがあるか考える。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <予想される答え> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">物資</div> 文房具・食品・お菓子・洋服 など <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">サービス</div> インターネット・バス代 など </div> ・サービスにも様々な種類があることに気づかせる。 ・中学生も毎日の生活で多くの商品を購入し、消費して生活していることに気づかせる。	

	<p>○契約について、ワークシートに記入する。</p> <p>○契約クイズを行い、ワークシートに答えとその理由を記入し、発表する。</p> <p>○どの場面が契約の成立の場面かイラストを見て個人で考え、発表する。</p>	<p>・契約の成立についてワークシートを用いて、説明する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><予想される答え> お金を支払っていないため、契約とは言わない。 家族や友達に契約したことにならない。</p> </div>	<p>エ-① 【ワークシート】 契約について理解している。</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>○振り返りシートに記入する。</p>	<p>・本時の感想と反省を記入する。</p>	

(3) 板書計画

11/9 テーマ「消費者としての自覚をもとう」

契約とは？


物資

(消費者)

(消費生活)


サービス

義務
()を支払う
 権利
()を受け取る



契約とは () のこと

義務
()を渡す
 権利
()を受け取る



(4) 授業観察の視点

- 導入の発問は適切であったか。
- 契約クイズは生徒が契約について理解するものになっていたか。
- 本時の目標と評価項目と学習内容が一致していたか。
- 時間の配分は適切であったか。

消費者としての自覚をもとう

2年 番 氏名 _____

1 様々な商品を物資とサービスに分けてみよう。

物資…()商品

サービス…具体的な()商品

()…商品を購入し、使用する人のこと。

()…お金を支払って商品を購入し、生活すること。

2 契約とは？

消費者

販売者

義務
()を支払う
権利
()を受け取る



義務
()を渡す
権利
()を受け取る

契約とは()のこと

ポイント

①口約束でも成立する。

②自分や相手の都合で一方向的に内容を変更したり、やめたりすることはできない。

③ 契約クイズ

第一問 次の中から「契約」と思うものを選びましょう。

- ①スーパーで野菜を買う。
- ②飛行機に乗る。
- ③そばの出前を注文する。
- ④宅配便で荷物を送る。
- ⑤病院で診察をしてもらう。
- ⑥友達とボウリングに行く約束をする。
- ⑦高校に入学する。
- ⑧美容院で髪を切る。
- ⑨スマートフォンで音楽をダウンロードする。
- ⑩家族にお弁当を作ってもらう。

答え：

理由：

第二問 契約が成立したのは次の①～④のどの場面でしょうか。



答え：

理由：